

(第2回)札幌市子どもの権利条例制定検討委員会会議結果報告書

・・・日時・・・

平成17年(2005年)5月27日(金) 17:30 ~ 20:30

・・・場所・・・

WEST19 研修室 A・B

・・・出席者・・・

委員：19名(欠席：6名)

事務局：子ども育成部長、子どもの権利推進課長

子どもの権利推進担当係長、子どもの権利推進担当職員2名

教育委員会：総務部総務課事務職員、学校教育部指導担当係長

議 題	審 議 概 要	備 考
1 札幌市の子どもに関する施策を説明(「子ども未来プラン」の概要)	1 事務局担当者がパワーポイントを用い、札幌市次世代育成支援対策推進行動計画(子ども未来プラン)の計画策定に至った背景、及び現状を説明。	
2 第1回正副委員長 部会長会議(4月28日)の経過報告	2 会議結果報告書の内容を確認し、承認。	
<p>3 第2回正副委員長 部会長会議(5月10日)の経過報告 会議の運営 公開について ア 正副委員長 部会長会議について</p> <p>イ 部会について</p>	<p>ア (ア)公開することを再確認し、会議資料も基本的に傍聴者に開示する。 (イ)会議結果報告書は事務局が作成。</p> <p>イ (ア)各部会での議論をもとに公開、非公開の意見が出され、審議の結果、公開を原則とすることとした。 (イ)部会の開催日時、会場に関する情報は、ホームページで周知する。 (ウ)部会の資料は原則として傍聴者に配布する。 (エ)部会の会議結果報告書は各部会で作成する。 記載においては委員の氏名など個人情報等は省く。部会が作成した報告書は事務局に提出する。事務局で個人情報などの校正を行ったのち、正副委員長が内容を確認し、ホームページも含め公表する。</p>	<p>イ 部会の会議は、懇談会に向けた作業の進捗状況などに応じて随時開催することになる。急な会議の場合、開催日時の周知や、傍聴者への資料配布の準備が、十分に整わないこともあり得る。</p>

<p>懇談会について ア 日程の変更</p>	<p>ア (ア)地域団体との懇談会(少年 6団 民生児童委員などを対 象とする7/3予定分)は 7月2日(土)に変更 (イ)小学生(7/26)、中学生 (7/27)、高校生(7/28) は同日に開催する。 【日時】 7月24日(日) 午前10時00分～ 午後1時30分～ 【場所】 札幌市立向陵中学校</p>	<p>ア (イ)懇談会当日は小 中 高が 各4会場、合計12会場を予定 し、各会場を2名の委員で担当 する予定である(25名の委員 に対して、必要な人員が24名 となる)。</p>
<p>イ 各懇談会の運営に関する部 会からの報告</p>	<p>イ (ア)地域部会 a 懇談会の流れ (a)アンケート(項目回答) (b)子どもの権利に関する事 前説明 (c)グループ討議 (d)アンケート(自由記載) b 懇談会の人員配置 1会場50人に対して委員2 名配置を希望。</p>	<p>イ (ア) a (a)アンケートの内容について は引き続き検討が必要と考 えている。 (b)ある程度統一した説明が必 要と考えている (c)50人の会場を3～5のグル ープに分ける予定。グループ ごとに司会役を設けて討議 を進める(司会役には討議の すすめ方に関する手引きを 渡す)。</p>

	<p>(イ) 中高校生部会 a 懇談会の流れ (a) 開会后、アンケート(項目回答)と趣旨説明 (15分) (b) グループ討議(30分) (c) グループ発表 (d) アンケート(自由記載欄)、閉会</p> <p>(ウ) 幼児 小学生部会 a 懇談会の流れ (a) 趣旨説明(5分) (b) 自己紹介(10分) (c) 子どもの権利条例に関する説明(15分) (d) アンケートの項目回答 (15分) (e) グループ討議(30分) グループ内で司会、記録、発表者の役割を決める。</p>	<p>(イ) a (a) 適当なソフトがあれば趣旨説明で映像資料を使いたい(TV、ビデオの機材の有無を事務局で確認する)。 (b) グループ討議のテーマ(案) 「周りの大人について思うこと」 「自分たち(子ども)について思うこと」 「子どもの権利について思うこと」</p> <p>(ウ) 幼小部会は担当する懇談の対象が子どもであることに重点をおいて懇談会について検討した。 (c) 子どもを対象とする懇談であるため、年齢によっては法律、条例などの仕組みについて説明をする必要がある。 (e) 6人程度のグループが理想(ただし、懇談会の参加者人数と対応する委員の人数の調整が必要となるので、検討が必要)。</p>
--	--	---

	<p>(f) グループ発表 (15 分) (g) アンケート (自由記載) (10 分) (h) まとめ (5 分)</p> <p>b 子どもに付き添ってきた大人へもアンケートを実施することを検討。</p> <p>c 懇談会の人員配置 1 会場 50 人に対して委員 2 名配置を希望。</p> <p>(工) 子どもの指導者部会 a 懇談会の流れ (a) アンケート、趣旨説明 (b) スクール形式で参加者から意見を求める。</p> <p>b 地域団体との懇談については、団体ごとに会場を分けて懇談する。</p> <p>c 懇談会の人員配置 1 会場 50 人に対して委員 2 名配置を希望。</p> <p>(才) 親部会 a 懇談会の流れ (a) 趣旨説明 (b) 子どもの権利条約の説明</p>	<p>b 会場の定員限度まで参加者を募集しており、会場内に控え室はない (向陵中学校のみ、1 教室を控え室とする予定だが、規模は大きくない) ため、付添を対象とするアンケートの実施については検討が必要。</p> <p>(b) 地域団体との懇談では子ども達に関して活動を通じて感じていることを聞く。</p> <p>(b) 大人を対象とする懇談会については、条約の解説を</p>
--	--	---

	<p>(c) アンケート(項目回答) (d) グループ討議 (e) グループ発表</p> <p>(f) まとめ (g) アンケート(自由記載)</p> <p>b 懇談会の人員配置 1会場50人に対して委員2名配置を希望。</p>	<p>委員会として統一することが提案された。</p> <p>(e) ポストイットを発表の際の筆記用具として活用することを検討中。</p> <p>b 懇談会当日の応援体制を調整する際、親部会が担当する懇談会が、他の部会に比べて多いことを考慮する必要がある(懇談会の参加者の応募状況もふまえ事務局で調整について検討する)。</p>
<p>ウ 託児室について</p>		<p>ウ 8月3日(水)午前の乳幼児の親を対象とする懇談会について、全ての会場に託児室を設けるべき、との意見(予定ではエルプラザのみ託児室を設置)があり、事務局で検討することとなった。</p>
<p>アンケートについて</p>	<p>アンケートに関しては、懇談会当日に実施するアンケートと、その他の機会に実施するアンケートを区別して議論する。</p>	
<p>ア 懇談会で実施するアンケートについて</p>	<p>ア (ア) 活用の方法 懇談会で実施</p>	<p>ア (ア) アンケートの活用の方法について、おおまかなイメージはあるが、条例素案に</p>

<p>イ 懇談会以外の機会におけるアンケートについて</p>	<p>アンケートの集計結果は部会が作成する懇談会のレポートに反映させる</p> <p>各委員がレポートの内容を確認し理解する</p> <p>委員会が起草する条例 素案に反映</p> <p>(イ) 懇談会当日のアンケート実施方法を統一することを確認。</p> <p>a 懇談会会場で実施</p> <p>b 項目回答欄への回答の時間は、懇談会の討論を始める前に設ける。</p> <p>c 自由回答欄への回答の時間は、懇談会の討論の終了後に設ける。</p> <p>(ウ) アンケート自由記載欄の回答に関する取扱いについて、条例作りに対して具体的に提案されている回答のなかから、レポートに掲載するものを抽出することを確認。</p> <p>イ 懇談会以外の機会にアンケートを実施することに関しては、正副委員長部会長会議において、継続して検討することとした。</p>	<p>対して具体的にどのように反映させるかという手法が未定である。具体的手法については6月中に検討を行う。</p> <p>a アンケート用紙にアンケートの活用方法に関する説明書を付記すべきではないか、との意見が出された。</p> <p>(ウ) 条例作りへの具体的な提案が示されていない回答など、レポートに抽出されなかった回答については別途、紹介(公表)する。</p> <p>イ (ア) アンケートを実施することによる子どもの権利の啓発効果を活かすため、市内の小中学生の全てを対象とするアンケートの実施が提案された。これについては、学校を介して大規模なアンケートを実施する場合は、実施までの手続きに相当な時間を</p>
--------------------------------	---	--

<p>ウ アンケートを実施することの意義</p> <p>懇談会のレポートについて</p>	<p>ウ</p> <p>(ア) 幅広い人から意見をもらいたい</p> <p>(イ) アンケートの結果、札幌の子どもに関する状況 実像が数値として現れる</p> <p>(ウ) アンケートを実施すること自体が、子どもの権利に関する啓発となる</p> <p>懇談会およびアンケートの結果について、各懇談会を担当する部会が責任をもって、レポートを作成し、委員会に提出す</p>	<p>要するため、集計結果を条例素案策定に反映させるには時間的な困難があるのではないか、との指摘もあった。</p> <p>(イ) また、懇談会等に検討委員会の活動に興味を持って参加する人と、大きな興味を示さない人では、子どもの権利に関する意識に差があることも危惧されるため、アンケートを懇談会の会場のみで実施する場合は結果に偏りが懸念される、との指摘があった。</p> <p>(ウ) 乳幼児に対する視点を明確にするために、乳幼児に関するアンケートの実施について提案があった。</p> <p>これに関して、懇談会にて実施するアンケートの質問項目に乳幼児に関する質問を追加することも提案された。</p> <p>レポートを条例素案作りに反映させる具体的な手法については今後検討する。</p>
--	--	--

	<p>る。</p> <p>懇談会における発言や提案された意見は概要としてまとめて報告する(逐語の報告は必要ない)。</p> <p>報告書のボリュームについては定めない。</p>	
--	--	--